

◎アラセナ-A 軟膏 [外], ▼アラセナ-A 点滴静注用 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 ビダラビン Vidarabine (Ara-A) 【分類】 抗ウイルス剤

【単位】 ◎5g/本 [3%], ▼300mg/V

【常用量】 ■単純ヘルペス脳炎には1日10~15mg/kgを10日間、免疫抑制時の帯状疱疹には1日5~10mg/kgを5日間

■外用：1日1~4回塗布または貼布

【用法】 輸液500mLあたり2~4時間かけて点滴静注

【透析患者への投与方法】 注射：75%に減量しHD後投与 (3,12)

【PD】 注射：75%に減量 (3)

【保存期 CKD患者への投与方法】 Ccr 10mL/min以上：減量の必要なし、Ccr 10mL/min以下：75%に減量 (3,5,12)

【特徴】 ウイルスのDNAポリメラーゼを阻害する抗ヘルペスウイルス薬。ACV無効例に使用を考慮される。単純疱疹や帯状疱疹に対する外用薬の効果が限定的で、びらん部位からわずかに吸収される程度である。このため、外用薬で治癒が促進されることは考えにくく抗ウイルス薬の全身投与が優先される。

【主な副作用・毒性】 骨髄抑制、精神神経症状、消化器症状、ショック・アナフィラキシー、腎障害、肝障害、発熱、全身倦怠感、めまいなど。大量・長期投与により精神神経障害（振せん、しびれ、錯乱等）が発現しやすくなることが示唆されている (1)

【代謝】 末梢でadenine deaminaseにより急速に活性体Ara-Hx (9β-D-arabinofuranosyl hypoxanthine) に代謝される (11) Ara-Hxの代謝にはキサンチンオキシダーゼが関与する (1)

【排泄】 尿中排泄率は未変化体1.7%、主活性代謝物Ara-Hxとして47.5% [24hrまで] (1) 尿中Ara-Hx排泄率40~50% [iv] (Buchanan RA, et al: Clin Pharmacol Ther 1980 PMID: 7371366)

【CL】 腎CLはGFRに近似 (Buchanan RA, et al: Clin Pharmacol Ther 1980 PMID: 7371366)

【t1/2】 ara-Aとして15min、ara-Hxとして平均3.3hr (2~4.5hr) (11) 3.3hr (2) 3.5hr (8) 【透析患者のt1/2】 4.7hr (2,8)

【蛋白結合率】 55.5% (1)

【Vd】 0.65L/kg (6)

【MW】 267.24

【透析性】 20~50% (6, Lam YWF, et al: Clin Pharmacokinet 32: 30-57,1997) 【透析CL】 70mL/min (8)

【pKa】 3.7 (1) 【O/W係数】 資料なし (1)

【相互作用】 キサンチンオキシダーゼ阻害剤により活性体の分解が抑制され、毒性が増強する可能性 (1)

【更新日】 20230919

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。